

2025 年 1 月 20 日

一般社団法人Jミルク

日本酪農の持続可能性 生産者・識者が討論

海外事例も紹介 2 月 27 日に研究会開催

Jミルクは 2 月 27 日(木)、2024 年度の「日本の持続可能な酪農研究会～海外の事例に学び今後の取り組みを探る」を下記の要領で開催します。

日本の酪農の持続可能性に関する専門家が、昨年 10 月にフランスで開催された国際酪農連盟(IDF)のワールド・デリー・サミット(WDS)や、6 月に北海道帯広市、9 月にポーランドで開催された国際酪農比較ネットワーク(IFCN)の会議などで話し合われた情報や事例の紹介を交えて講演します。また、WDS に併せて開かれた IDF の酪農家円卓会議に参加した日本の酪農家とともに、後継者・新規就農者、アニマルウェルフェア、衛生対策といったテーマについて討論を行います。

酪農生産者、酪農関連組織・企業の酪農担当部門の方々を主な対象として、日本の酪農生産現場の持続可能性について関係者が共に考える場となります。

記

1. 日時：2025 年 2 月 27 日(木) 午前 10 時 30 分～午後 7 時
講演会* 10:40～14:20 (昼食:12:30～13:20)
討論会* 14:40～16:40
交流会 17:30～19:00
* Zoom ウェビナーによるオンライン参加も可能です。後日、講演会と討論会のオンデマンド配信を実施します。
2. 会場：アルカディア市ヶ谷(私学会館)
東京都千代田区九段北 4-2-25 (<https://www.arcadia-jp.org/access/>)
(JR/地下鉄 市ヶ谷駅から徒歩 2 分)
3. 参加対象者：酪農生産者、酪農関連組織・企業の酪農担当者、行政関係者、メディアなど
4. 参加申し込み
(会場参加、オンライン参加、オンデマンド視聴とも参加費は無料です)
参加または取材される方は、下記のフォームから申し込みをお願いいたします。
<Google フォーム>
<https://forms.gle/MKPRPZMK4XydmziVA>



※会場の座席数には限りがありますので、座席数を越えた申し込みがあった場合は、オンラインでの参加を案内させていただくこともあります。あらかじめご了承ください。

申し込み締め切り:2025 年 2 月 10 日(月)

5. 当日プログラム(予定)

講演会(第 1 部 10:40~12:30、第 2 部 13:20~14:20)

第 1 部:IDF サミットから持続可能な酪農家、及び乳牛を育てる取り組みを探る

講演① 海外における酪農家の後継者・新規就農者(仮)

近藤 誠司氏(北海道大学名誉教授)

講演② 日本における酪農家の高齢化と新規就農者の育成

小林 信一氏(静岡県立農林環境専門職大学名誉教授)

講演③ 持続可能な酪農の実現における酪農教育ファームの価値

藤本 勇二氏(武庫川女子大学教授)

講演④ 諸外国における乳牛の健康管理と薬剤耐性問題への取り組み(仮)

菊 佳男氏(酪農学園大学教授)

第 2 部:世界の酪農家及び酪農組織から持続可能な酪農経営を探る

概要説明 IDF 酪農家円卓会議(DFRT)

Jミルク事務局

報告① DFRT/酪農場訪問

中村 俊介氏(酪農家)

報告② DFRT/酪農家討論

半田 佑介氏(酪農家)

講演⑤ IFCN に見る”Sustainability”と”持続可能性”

日向 貴久氏(酪農学園大学教授)

討論会(14:40~16:40)

テーマ:「日本の持続可能な酪農をどう進めるか」(仮)

モデレーター:生源寺 眞一氏(東京大学・福島大学名誉教授)

パネリスト:上記の講演者②~④、報告者①~②、清水 ほづみ氏(酪農家)

テーマ 1:酪農家を育てる観点から、後継者及び新規就農者をどのように持続させるか、そのための酪農教育ファームの役割は?

テーマ 2:乳牛を育てる観点から、持続可能なアニマルウェルフェア及び衛生対策(AMR、乳房炎等)の取り組みを考える

交流会(17:30~19:00)

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

国際グループ 菅沼、岡島

東京都千代田区神田駿河台 2-1-20 御茶ノ水安田ビル 5 階

電話:03-5577-7495